記者発表資料

令和元年１１月１３日

国　土　交　通　省
山形河川国道事務所

国道112号七日町通りの安心安全な道路空間の確保に向けた広報の実施について

～七日町自転車道利用安全のための広報として地元高校生による街頭放送を実施します～

山形河川国道事務所では現在、山形市内国道112号で七日町自転車道整備事業を行っています。

七日町自転車道整備については、地元商店街と検討を行いながら、事業を進めておりますが、現状で逆走や歩道上の走行など衝突や接触の危険がある通行区分を守らない自転車利用者が見られます。

そこでこれらの利用実態をあらためて調査するとともに、今後さらなる安心安全な道路空間の確保、及び利便性の向上等による中心市街地の活性化を目的に、道路利用者に対する街頭放送や各種広報等を実施しますのでお知らせします。なお交通実態調査については11月19日（予備日21日）。街頭放送、各種広報は11月２５日より予定しております。

■実施内容

１.交通実態調査　利用状況の把握、挙動調査
２．FM放送を活用した街頭放送（地元高校生アナウンス）
３．商店街の店舗における館内放送
４．市内の拠点におけるポスターの掲示
５．広報実施後における交通実態調査

■実施箇所

山形市十日町～七日町間

［ 発表記者会／山形県政記者クラブ　山形建設業界専門紙 ］

【お問い合わせ先】

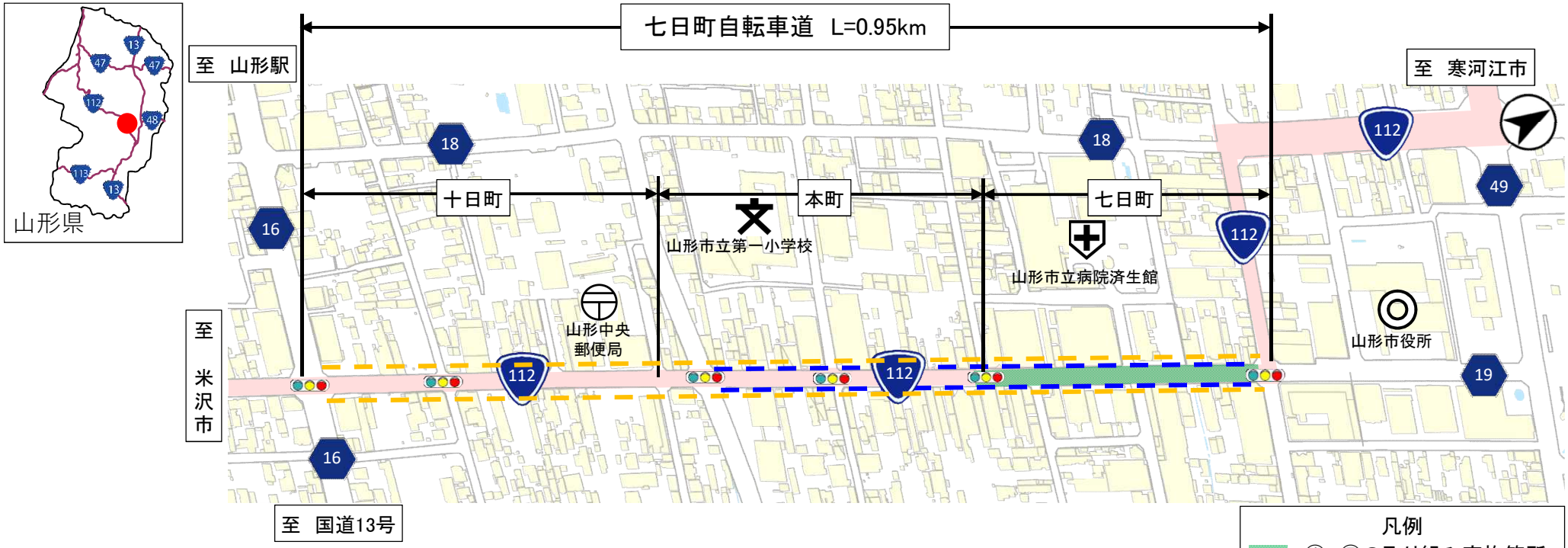
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
TEL 023-688-8421

交通対策課長　楢岡（ならおか）　民幸（たみゆき）（内線４７１）

■国道112号七日町通りの安心安全な道路空間の確保に向けた取り組み内容

▼取り組み内容

取り組み	取り組みの内容
①交通実態調査	FM放送前の自転車利用者の通行区分遵守や、歩行者と自転車の錯綜状況を計測。
②FM放送を活用した街頭放送	七日町、本町に設置されている街頭スピーカーから、自転車利用のルール・マナーアップに関するFM放送を実施（11月～３月）。**（地元高校生アナウンス）**
③商店街の店舗における館内放送	七日町の商店街の店舗で自転車利用のルール・マナーアップに関する館内放送を実施（11月～３月）。
④市内の拠点におけるポスターの掲示	商店街、公共施設等に自転車利用のルール・マナーアップに関するポスターを掲示。
⑤広報実施後における交通実態調査	上記の広報活動の実施後に、自転車利用者の通行区分遵守や、歩行者と自転車の錯綜状況を計測。



取り組み内容のイメージ

①、⑤交通実態調査

広報活動実施前後の
自転車道の利用状況を確認



②FM放送を活用した街頭放送

地元高校生が正しい自転車道の
利用についてアナウンス



③商店街の店舗における館内放送

街頭放送だけでなく聞こえやすい館内放送での広報



④市内の拠点におけるポスターの掲示

商店街店舗、駐輪場、地元高校における正しい
自転車道の利用をポスターで掲示



国道112号　自転車道の整備の経緯について

○ 歩行者及び自転車の安全確保、自転車利用環境の向上、中心市街地商店街の活性化を図るため、H21.11から自転車道の社会実験を開始。H24.12に両側自転車道を整備。
○ 自転車道整備により、通行区分を遵守する自転車の割合が改善。錯綜回数は大幅に減少。

《自転車道整備の経緯》

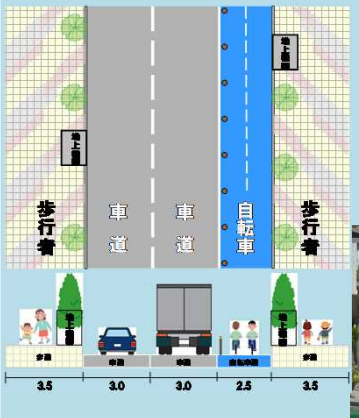
■自転車道整備前（H20以前）






《課題》
・当該区間を走行する自転車の約9割が歩道内を走行。
・ルールの周知不足、路上駐車車両が通行帯の利用を妨げている。

■片側自転車道（H21～H24.12）



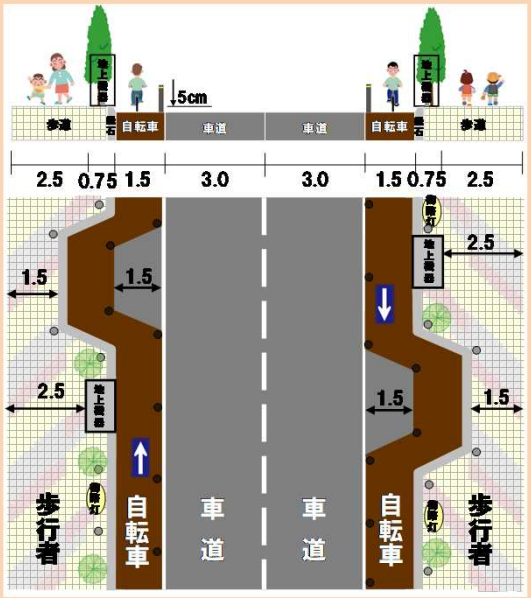



《課題》
・利用形態が不平等のため、沿道商店街から売上減少の苦情。
・東側に停車できないため、荷下ろしや送迎の乗降に支障。
・西側の歩道を自転車が通行し、歩行者と錯綜。

◎課題解決に向け自転車道社会実験検討委員会を立ち上げ、対策内容について議論

◆自転車道社会実験検討委員会メンバー
山形河川国道事務所、山形県警察、山形市、地元商店街、山形県（オブザーバー）

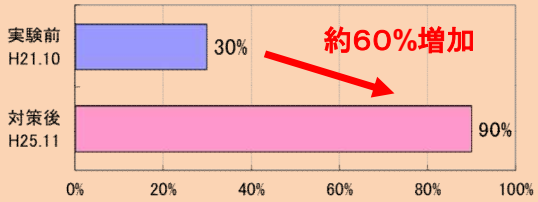
■両側自転車道（H24.12～）



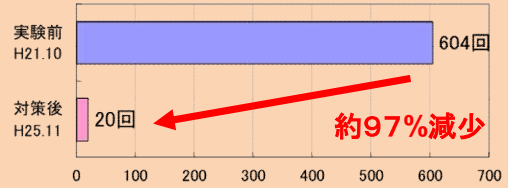
《対策内容》
・両側に自転車道を整備（自転車の境界にボラードを設置し、自転車・歩行者・車の走行空間を分離）
・荷下ろしや送迎のための停車帯を6箇所に整備




【対策後の効果】



▲通行区分を遵守する自転車の割合の変化



▲歩道での錯綜回数の変化

H26年7月両側自転車道で地元商店街合意

国道112号　自転車道の今後の整備について

H28より本施工に着工

■自転車融雪





駅前交差点まで完了時に
消融雪稼働

■ボラード設置間隔・高さの見直し



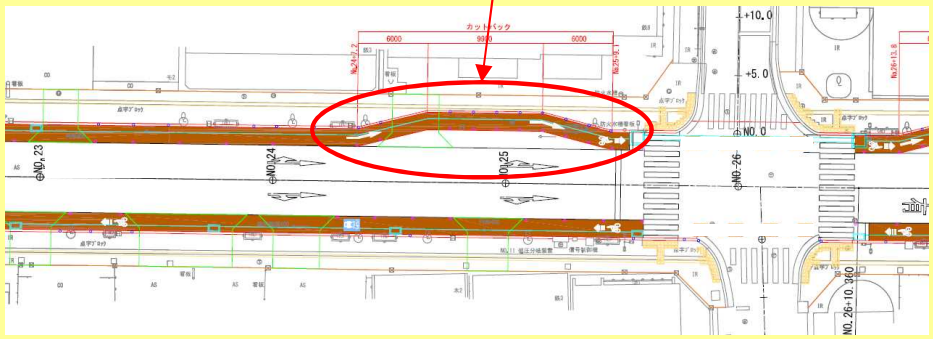




H27.2～3現地実証実験の結果、高さ65cm・間隔4mが推奨

■カットバック構造の見直し（ガイドライン適合化）

カットバック折り込み
現況1：2→改良1：4



■歩道バリアフリー化





整備イメージ→
（写真は昨年度整備箇所）